

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友重機械工業株式会社（証券コード:6302）

【見直し変更】

長期発行体格付 A
格付の見直し 安定的 → ポジティブ

【据置】

債券格付 A
発行登録債予備格付 A
国内CP格付 J-1

■格付事由

- (1) 量産機械系事業を主力とする総合重機メーカー。変減速機、プラスチック射出成形機、油圧ショベルなどの量産機械系事業の他、船舶、各種産業機械、循環流動層（CFB）ボイラなどのエネルギープラントも手掛ける。近時は、着実な成長の実現、収益性の向上、業務品質の改善などを重視している。また、足元でM&Aを活発化させており、17年3月末に持分法適用関連会社であった日立住友重機械建機クレーン（HSC社）を子会社化。17年6月にはCFBボイラ事業を手掛けるFW Energie B.V.（FW社）を219億円で買収した。
- (2) 18/3期営業利益は増益に転じるとともに高い水準が見込まれる。量産機械系の事業環境が総じて良好な中、M&Aによる収益底上げもあり、19/3期営業利益も堅調に推移する公算が大きい。一方、過年度に散見された品質問題などの影響はほぼ一巡しており、利益が下方に振れるリスクは抑制されつつある。景気感応度が比較的高い事業が主力とはいえ、多様な収益源を持ち、アフターサービスの収益も厚みがある。また、自己資本の継続的な積み増しや有利子負債の削減などを通じて財務基盤の強化・充実が顕著になっている。HSC社やFW社の連結子会社化による財務への影響も限定的だった。以上を勘案し、格付を据え置き、見直しを安定的からポジティブに変更した。
- (3) 18/3期営業利益は600億円（前期比23.9%）の計画であり、全部門で3期連続の営業黒字が見込まれる。量産機械系の事業が収益をけん引しており、中でも建設機械セグメントが急回復する見通しである。これは中国における油圧ショベル市場の回復やHSC社の収益寄与などが背景にある。19/3期は量産機械系の事業が引き続き好調に推移する上、FW社の収益貢献も高まるとみられる。なお、18/3期に特別損失として焼却灰溶融施設に係る和解損失144億円を計上したが、収益力やキャッシュフロー創出力の高まりで吸収できている。
- (4) 自己資本比率は改善が進み、直近ボトムの前12/3期末40.3%から17/3期末50.0%に高まった。18/3期第3四半期末の自己資本比率はFW社を連結した上で47.8%と良好な水準を維持している。また、ここ数年は恒常的にプラスのフリーキャッシュフローを創出しており、ネット有利子負債の削減も進んだ。今後もM&Aの実施を示唆しているが、キャッシュフロー創出力や保守的な財務運営方針を勘案すれば、良好な財務構成は維持可能な見通しである。

（担当） 涛岡 由典・関口 博昭

■格付対象

発行体：住友重機械工業株式会社

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年10月28日	2019年10月28日	0.258%	A
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	500億円	2016年10月10日から2年間		A	
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	450億円	J-1			

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018年2月27日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：湊岡 由典
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「総合重機」（2011年7月13日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行者・債務者等） 住友重機械工業株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル